



自動運転に関するEUの規制動向と 今後のステップ

自動運転の国際的なルール作りについてのシンポジウム2025
(JASIC)

東京、2025年4月18日

Mohamed Brahmi 工学博士、EC、DG GROW

自動運転に関するEU型式認可の枠組み — 現状



UNR171

L2 DCAS

(縦・横方向の運行補助機能)

ドライバが同乗し、
運転に関与し、責任を持つ

広範囲での運用

車両生産台数の制限なし



UNR157

L3 ALKS

(自動車線維持システム)

ドライバが同乗するが、
運転に関与しない

高速道路

車両生産台数の制限なし

サイバーセキュリティ対策



EU 2022/1426

L4 ADS

(自動運転システム)

ドライバが不在

特定のエリアでの運用

車両生産台数の制限あり (1500台まで)

ADSに関するEU規則の解釈文書（ID）

Amendment to ID（2025年2月）



First ID（2024年2月）



EUにおけるCCAMの展開の推進



1. 国レベルでの実施および加盟国によるイニシアチブ
2. 統一試験に関するガイドライン
3. 大量生産向け車両およびグローバルな調和

1. 政策関連のトピック ([link](#))

- (2023年) 欧州全域におけるADSの展開に関する3つのワークショップ
- (2024年) 「EU 2022/1426の実施に関する報告書 政策関連トピックの概要」の発行
- (2024年) 接続型自動運転輸送に関する高官レベル協議および [コミットメントレター](#)
- (2024年) 加盟国によるイニチアチブ：自動運転輸送に関する欧州フォーラム (EFAT) – [Terms of Reference](#)



1. 自動運転輸送に関する欧州フォーラム (EFAT) — コミットメント

国内戦略：

- 各国は、自動運転車の安全かつ持続可能な展開に向けた戦略を策定し、ロードマップを作成している。

ベストプラクティス：

- 各国の規制におけるベストプラクティスを共有することで、自動運転輸送をモビリティ政策に統合しやすくなる。



国内における影響：

- 自動運転車が交通指導取り締まり、車両の適合性、インフラ、運転免許制度、および社会的受容にもたらす影響を理解することが、極めて重要である。

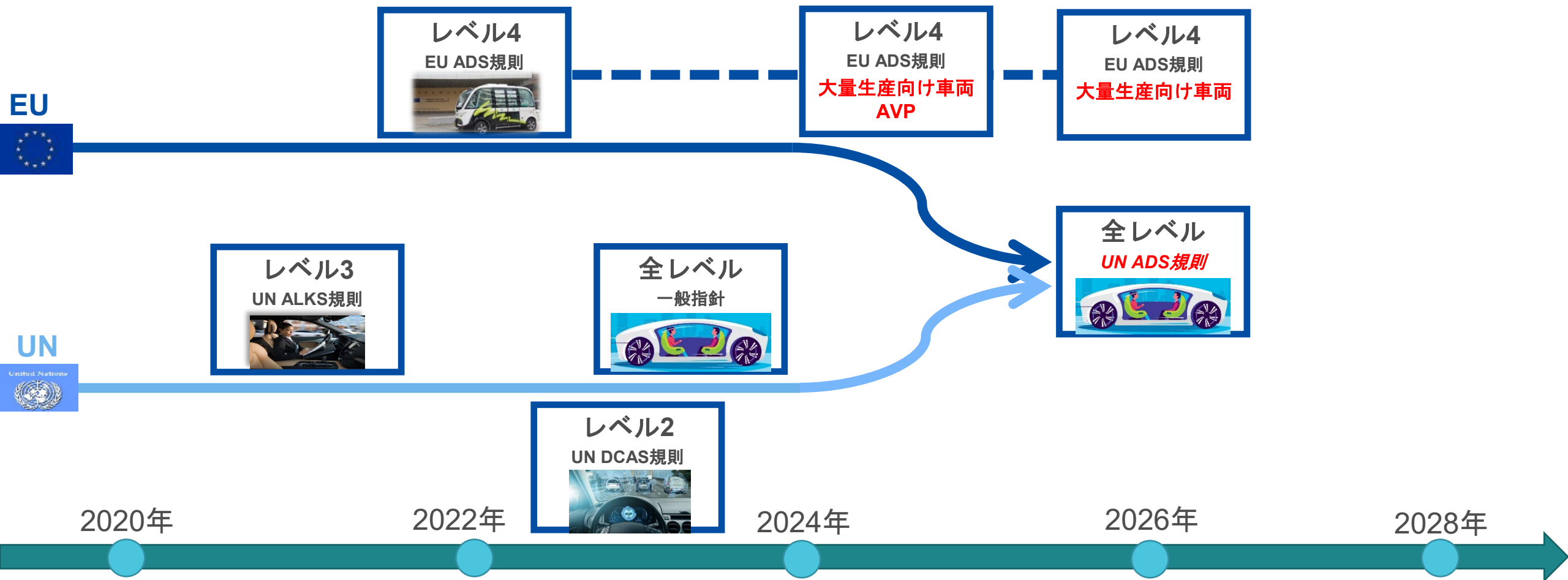
勧告：

- 協調した取り組みと調和のとれた規制が求められており、これにはグローバルな技術的枠組みの策定を含む。

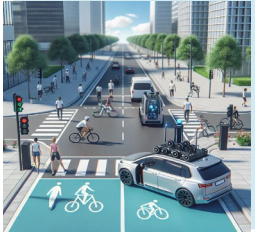
2. 国境を越えた複数加盟国におけるADS展開のロードマップ

- ステップ1. 型式認証前のADS試験 → [Guideline](#) 
- ステップ2. 複数加盟国でのODDにおけるADSのEU型式認可試験
→ ADS規則EU 2022/1426の解釈文書の更新 
- ステップ3. ADSの国境を越えた複数加盟国への展開と拡大
→ 展開要件の調和？

3. 大量生産向け車両およびグローバルな調和



EUの自動運転（AD）アクションプラン： 主要な施策



自動運転の試験環境（テストベッド）：EUは、市場準備と商業化を促進するために、少なくとも3つの大規模な国境を越えたテストベッド、規制上のサンドボックス、そして欧州自動運転回廊を設置する計画である。



自動運転の単一市場：現在の規制環境は分断されており、EUは自動運転車の展開を促進するため、より調和のとれた枠組みの構築を目指している。



規制枠組みの構築：欧州委員会は、自動運転車に関する規制の開発を優先し、2025年には自動駐車システムから始め、2026年にはさらに多くのユースケースへと拡大する予定である。またADASおよびADS試験に関する調和した認可手続きが、2026年初頭に提案される予定である。

まとめ

- 自動運転車および無人運転車の認可はすでに可能
- 調和のとれた実施に向けたガイダンス
- 2026年までにグローバルな調和を目指す
- 一方、2026年までに大量生産向けのADS認可へ段階的に移行する（まずは2025年にAPSが認可）
- 展開に関する質問に対応するため、自動運転輸送に関する欧州フォーラム（EFAT）が設立された
- 自動車産業アクションプラン：ADSに関する主要な施策



ご清聴ありがとうございました。

mohamed.brahmi@ec.europa.eu



© 欧州連合 2025

特に記載のない限り、本プレゼンテーションの再利用は[CC BY 4.0](https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/)ライセンスの下で許可される。EUが所有していない要素の使用または複製については、該当する権利者から直接許可を得る必要がある場合がある。